

# ワイヤーストリッパ

## 取扱説明書

### ZKS-12



#### もくじ

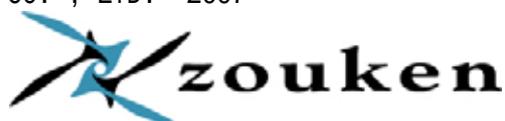
はじめに	2
安全にお使いいただくために	2
準備	4
製品の確認	4
各部の名称	4
設置	6
電源の接続	6
操作の手順と設定	7
運転	7
ケーブル径の設定	9
ストリップ長の設定	10
ストリップモードの設定	11
ケーブルガイドの設定	13
ストリップ時間の設定	13
線径表示シールの貼付方法	14
保守部品の交換	15
クランプの交換	15
ストリップ刃の交換	16
オプション	17
フットスイッチFS10H	17
正常に動作しないときは	18
付録	19
仕様	19
外形図	19
点検	19
保証とアフターサービス	20

お買い上げいただきありがとうございます。  
この取扱説明書には、製品の取り扱い方や、安全上の  
注意事項を示しています。

取扱説明書をよくお読みになり、製品を安全にお使  
いください

お読みになったあとは、いつでも見られるところに  
必ず保管ください。

© Copyright ZOUKEN CO., LTD. 2007



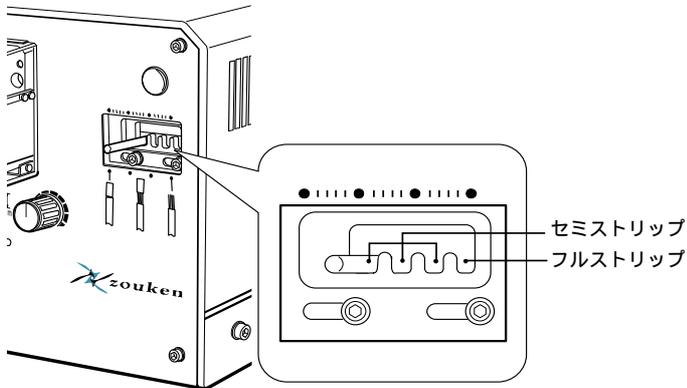
## はじめに

ワイヤーストリッパZKS-12は、電線の先端をタッチセンサーに軽く押しあてるだけで、被覆が剥離できるストリップ加工装置です。

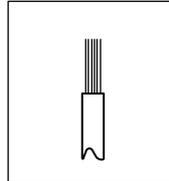
AWG14～30 (2～0.05 mm<sup>2</sup>) までの電線サイズをストリップすることができます。

### 4つのストリップモード

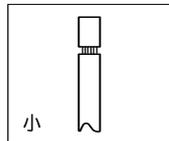
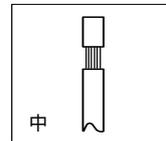
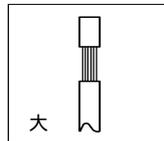
加工用途に応じたストリップモードがセミストリップ(大・中・小)、フルストリップから選択できます。



**フルストリップ**  
設定した長さの被覆を完全にストリップします。



**セミストリップ**  
設定した長さの被覆を途中までストリップします。  
剥離する長さは大、中、小の3種類が選択できます。



### 加工時間の設定が可能

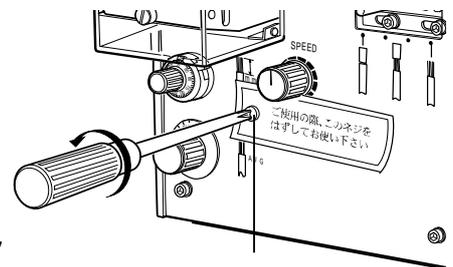
ストリップ加工に応じたスピード設定が行なえます。(設定範囲:0.5～1.2秒)

### ロックねじについて

#### ご使用前に必ず外してください。

輸送中にストリップ刃が動かないよう、出荷時はストリップ刃部をロックねじで固定しています(スライドロック)。ストリップ刃を固定せずに輸送すると故障の原因となりますので、輸送の際は必ずロックねじでストリップ刃を固定してください。

また、ロックねじをはずさないでワイヤーストリッパは動作しません。使用するときはロックねじをプラスドライバーではずしてください。外したロックねじは、再輸送に備えてなくさないよう保管してください。



ロックネジ  
(M3 L25)

この製品は、電線のストリップ加工を目的として設計・製造されたものです。その他の用途には使用しないで下さい。この警告を無視した結果生じた損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承下さい。

## 安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損傷を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから製品をお使い下さい。

#### 警告

この警告事項に反した取り扱いをすると、死亡または重傷を負う場合がある内容を示しています。

#### 注意

この注意事項に反した取り扱いをすると、損傷を負うまたは物質損害が発生する場合がある内容を示しています。

#### 重要

製品を正しくお使いいただくために、お客様に必ず守っていただきたい事項を本文中の関連する取り扱い項目に記載しています。

**警告****全般**

爆発性雰囲気、引火性ガスの雰囲気、腐食性の雰囲気、水のかかる場所、可燃物のそばでは使用しないでください。火災・感電・けがの原因になります。

設置、接続、移動、点検、故障診断の作業は、適切な資格を有する人が行ってください。火災・感電・けがの原因になります。

**移動・設置**

移動したり設置するときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・けがの原因になります。

**接続**

交流100V 50/60Hz 定格電流1A以上のコンセントを単独で使用してください。異なる電源電圧を使用したり、他の機器と併用した分岐コンセントを使用すると火災・感電・けがの原因になります。  
電源コードをむりに折り曲げたり、引っ張ったり、挟み込んだりし傷つけたり、破損したり、加工しないでください。火災・感電の原因になります。  
濡れた手で電源コードのプラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。  
電源コードのアース線を接地してください。漏電すると、感電の原因になります。

コンセントや電源ボックス内にアース専用端子が設けられている場合、その端子にアース線を確実に接続してください。

地面がやわらかい場合、地下40cmくらいまでアース棒を打ち込むと安全です。

交換用ヒューズは、指定のものを使用してください。火災・感電・故障の原因になります。

**運転**

ストリップ刃などの保守部品を交換するとき以外は、カバーをはずさないけがの原因となります。  
電線差し込み口には、指を入れないけがの原因となります。  
操作中に異常が生じたときは、ただちに電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

**保守・点検**

内部の修理、分解、および改造は行なわないでください。火災・感電・けがの原因になります。取扱説明書で指示した項目以外の内部の点検や保守は、またはお買い求めの販売店にお問い合わせください。  
点検、診断の作業に入る前は、電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。感電・けがの原因になります。  
移動、給油、部品の交換時は電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。感電や、思わぬ始動でけがの原因になります。

**注意****移動・設置**

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になります。

移動するときは、ロックねじでストリップ刃を固定するストリップ刃がスライドして故障する原因となります。

**接続**

電源コードのプラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因になります。

**運転**

カッター刃を手動で動かす時は、電源を切ってください。けがの原因になります。

髪の毛、ネクタイ、プレスレット、着衣の袖などを材料投入口に垂らさないでください。引き込まれて、けがの原因になります。

停電時や、保護装置が働いてモーターが停止した場合、電源スイッチを切ってください。突然の再起動によるけがの原因になります。  
異常が発生したときは、直ちに電源スイッチを切ってください。感電、けが、火災の原因になります。

**保守・点検**

素手で、カッター刃に触れないでください。けがの原因になります。

**廃棄**

ワイヤストリップを廃棄するときは、産業廃棄物として処理してください。

# 準備

## 製品の確認

パッケージを開封し、次のものがすべて揃っていることを確認してください。  
不足している場合や破損している場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

取扱説明書（本紙）

電源コード（1本）

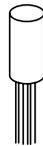
ワイヤストリッパー  
（本体 1台）



六角レンチ

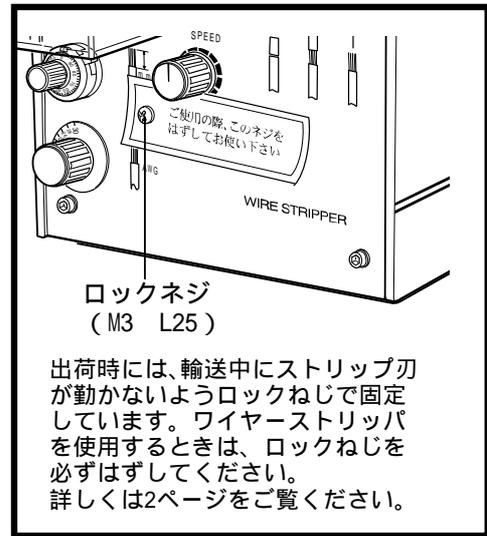
対辺1.5mm（止めねじ用）：  
ケーブル径設定つまみ（M3. 5）  
対辺2.0mm（六角穴付きボルトM2. 6用）：  
クランパ

ワイヤーブラシ



対辺2.5mm（六角穴付きボルトM3用）：  
フロントパネル、ストリップモード設定板  
対辺3.0mm（六角穴付きボルトM4用）：  
手動によるストリップ動作

線径表示シール 1枚  
シールの張り替えは、P14参照

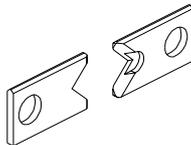


## 保守部品及びオプション部品（別売り）

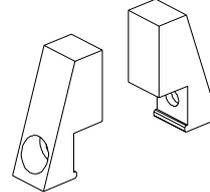
フットスイッチ  
品名:FS10H



ストリップ刃  
品名:C12C(チタノコティング 刃2枚1組)



クランパ  
品名:C12 (2枚1組)



## 各部の名称

で囲んだ数字は、5ページのイラストに対応します。

### 刃部カバー

ストリップ部の保護カバーです。  
ストリップ時は、必ず装着してください。  
カバーをはずしたときは、  
加工できません。

### 電線差し込み口

ストリップする電線を差し込みます。

### クランパ

ストリップ時に、  
電線をおさえます。

### ストリップ刃

電線の被覆をストリップする刃です。  
ストリップ時に往復動作をします。

### ケーブルガイド

電線サイズに合わせて、電線の挿入位置を設定します。

### ケーブルガイド固定ねじ

ケーブルガイドの高さを調整後、  
このねじで固定します。

### ストリップ長設定つまみ

ストリップする被覆の長さを設定します。  
設定範囲:1.0 ~ 20.0mm

### ケーブル径設定つまみ

電線サイズ(AWG No.)に合わせてケーブル径を設定します。設定範囲:AWG14 ~ 30(2 ~ 0.05m<sup>2</sup>)  
線径表示シールに張り替えるときは、P14参照



#### タッチセンサ

タッチセンサの先端が電線に押されるとストリップ加工を開始します。

#### ストリップ時間設定つまみ

ストリップ時間（ストリップ刃の往復時間）を設定します。設定範囲：0.5～1.2秒

#### ロックねじ

輸送中にストリップ刃が動かないよう固定するねじです。使用する際には、外してください。

#### ストリップモード設定板

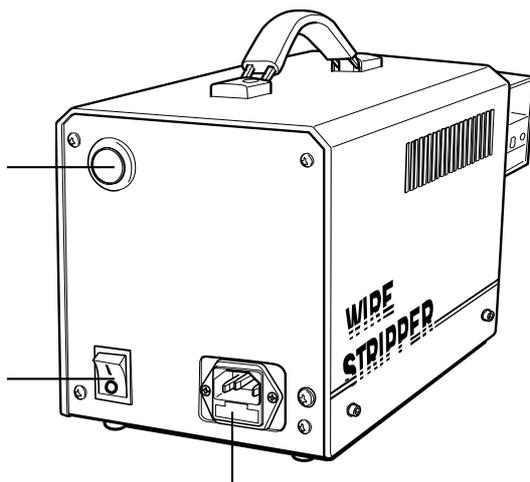
ストリップモード設定板の固定位置を変更すると、セミストリップ長が変更できます。

#### ストリップモード切り替えレバー

ストリップモードを設定します。  
設定モード：フルストリップ  
大セミストリップ  
中セミストリップ  
小セミストリップ

#### POWERランプ

通電中に点灯します。POWERランプが点灯中はワイヤーストリッパが運転状態になっています。



#### 電源スイッチ

「|」側に倒すと電源が入ります。電源を切るときは、「」側に倒します。

#### インレット

電源コードのコネクタを差し込みます。ヒューズが2本入っています。

#### 膜付きグロメット

通常は使用しません。オプション（別売り）のフットスイッチを使うときに使用します。

## 設置

 警告

設置、接続、移動、点検、故障診断の作業は、適切な資格を有する人が行なってください。火災・感電・けがの原因になります。

交流100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電・けがの原因になります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。火災・感電の原因になります。

濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

電源コードのアース線を接地してください。漏電すると、感電の原因になります。

・コンセントや電源ボックス内にアース専用端子が設けられている場合、その端子にアース線を確実に接続してください。

・地面がやわらかい場合、地下40cmくらいまでアース棒を打ち込むと安全です。

内部の修理、分解、および改造は行なわないでください。火災・感電・けがの原因になります。

 注意

電源コードのプラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因になります。

## 付属品の取り扱いについて

## 電源コード

デジタルカッタ本体の側面にある電源入力部にプラグを確実に差し込みます。もう一方のプラグは、AC100V/1A以上の電流容量の電源コンセントに差し込んでください。

電源コードのプラグをコンセントに差し込む前に、デジタルカッタ本体の電源スイッチがOFFになっていることを必ず確認してください。

## 電源の接続

 警告

移動したり設置するときは、電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。感電・けがの原因になります。

電源コードは付属しています。

電源スイッチが「」側に倒れていることを確認してから、接続してください。

POWERランプが点灯しているときは、ワイヤストリッパーが運転状態です。

電線差し込み口に指や物を入れないでください。けがの恐れがあります。

作業を始める前の設定は電源を切って行って下さい。

1. 電源コードをワイヤストリッパーのインレットに差し込む
2. 電源コードのプラグをコンセントに差し込む
3. 電源コードのアース線をコンセントのアース端子に接続する

この製品は、屋内での使用を条件に設計・製造されたものです。風通しがよく、点検が容易な次のような場所に設置してください。

## 屋内

使用周囲温度 0 ~ +40

使用周囲湿度 85%以下(結露しないところ)

爆発性雰囲気や有害な雰囲気でないところ

直射日光が当たらないところ

水(雨風や水滴)、油(油滴)、およびその他の液体がかからないところ

連続的な振動や、過度の衝撃が加わらないところ

## 設置台

ワイヤストリッパーは、机・作業台などの安定した水平なしっかりしたところに置いて、お使いください。

## 安全にお使いください

ワイヤストリッパーは、下記のように安全性を考慮した設計になっていますが、安全装備を取りはずすような危険な行為は避け、安全にお使いください。

## 刃部カバー

刃部に指が届かないように刃部カバーを取り付けています。

## 安全スイッチ

刃部カバーを取りはずすと、切断動作ができないようにするスイッチを設けています。

## 重要

電源コードを抜くときは、コンセント側のプラグを先に抜いてください。

# 操作の手順と設定

## 警告

異常が起きたときは、ただちに電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

## 注意

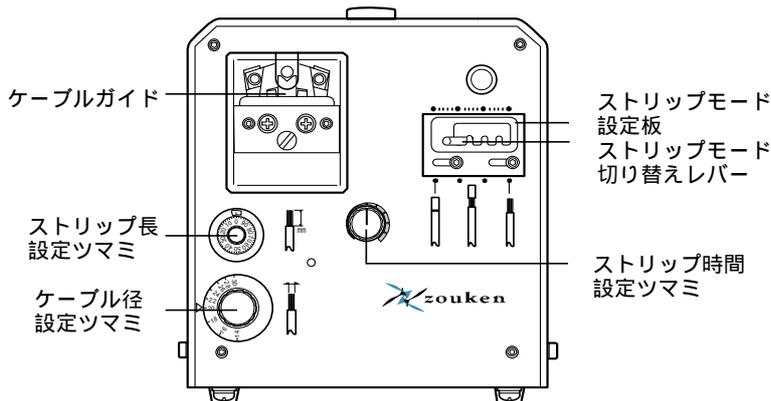
停電時や、保護装置が働いてモータが停止した場合、電源スイッチを切ってください。突然の再起動によるけがの原因になります。  
異常が発生したときは、ただちに電源スイッチを切ってください。  
感電、けが、火災の原因になります。

はじめてお使いになるときは次のような手順で作業を行ってください。

## 1 運転

### 1 ケーブル径、ストリップ長、ストリップモード、ケーブルガイド、ストリップ時間の設定

電線の大きさに合わせてケーブル径、ケーブルガイドを設定し、ストリップ長、ストリップモード、ストリップ時間を設定します。設定方法は、9～13ページを参照ください。



### 2 電源の投入

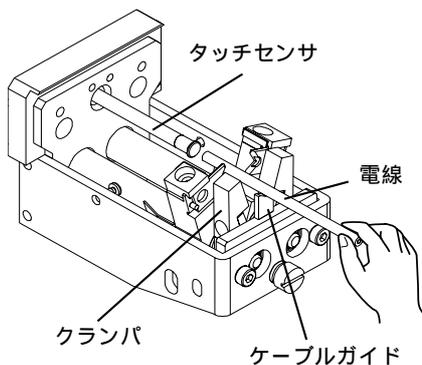
電源スイッチを「I」側に倒します。

- ・POWERランプが点灯します。
- ・ワイヤーストリッパは運転状態になります。



### 3 電線をタッチセンサにあてる

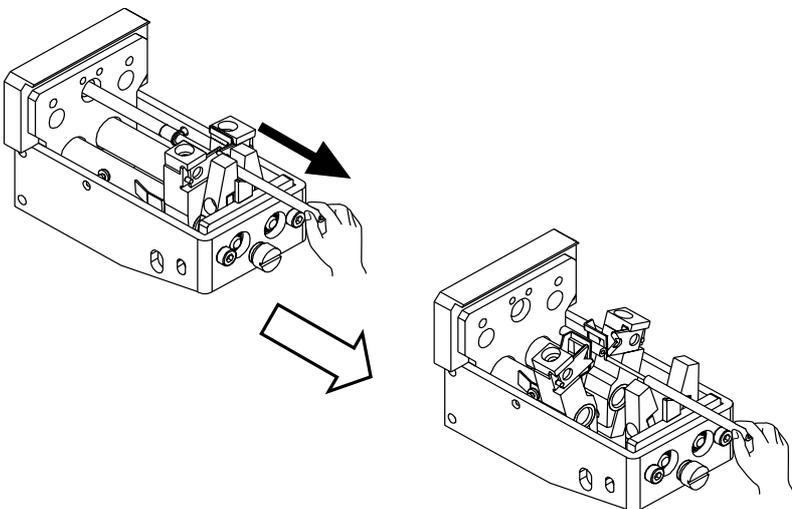
電線差し込み口よりケーブルガイド、クランプ間を通して電線を挿入し、タッチセンサの先に軽く押しあてます。タッチセンサが押されるとストリップを開始します。



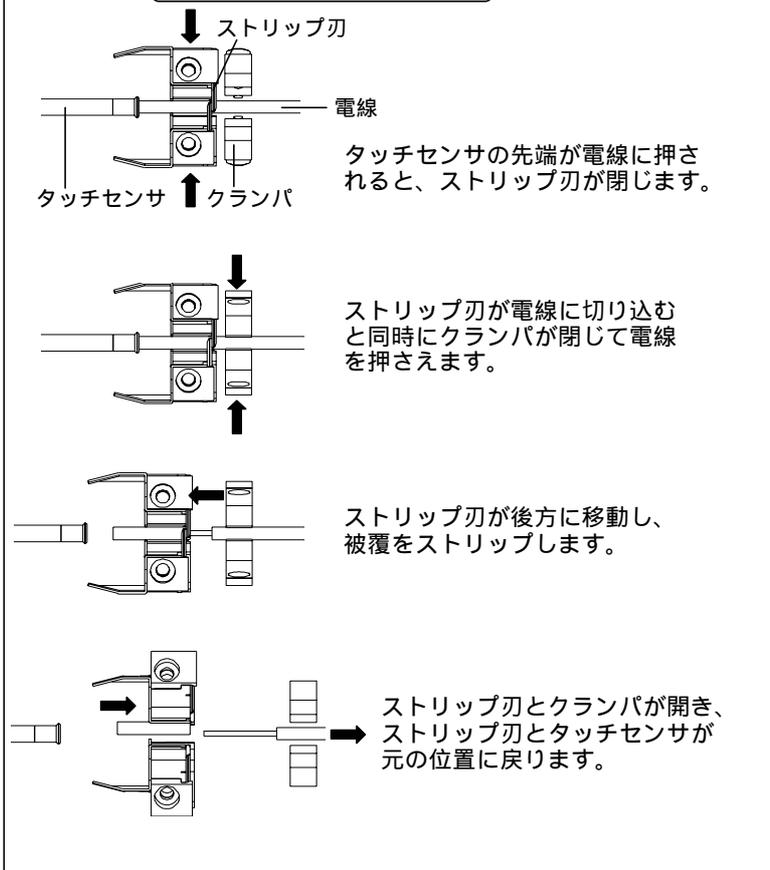


ストリップ時間の設定が速いほど、ストリップ刃の戻りが速くなります。最初は、ストリップ時間の設定を遅めに設定し、慣れてきたら徐々に速くしてください。

**4 電線を引き戻す**  
 ストリップ動作終了後は、電線を引き戻します。電線の引き戻しが遅れると、タッチセンサが電線にあたり、ストリップされた芯線が曲がる原因になります。



**ストリップ刃の動作**



**剥きカスの処理について**

電線の剥きカスはカバー内にたまりません。剥きカスが1cm程度たまりましたら、カバーをはずして捨ててください。

ストリップ動作開始前に、ケーブル径、ストリップ長、ストリップモード、ケーブルガイド、ストリップ時間を設定します。

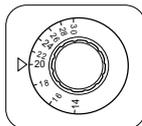
**⚠ 注意**

設定するときは、必ず電源を切ってから行ってください。  
けがの原因になります。

**2. ケーブル径の設定**

ストリップする電線サイズをケーブル径設定つまみで設定します。  
目盛りをフロントパネルの 印に合わせます。  
設定範囲はAWG14～30 (2～0.05mm<sup>2</sup>)

出荷時設定: AWG20



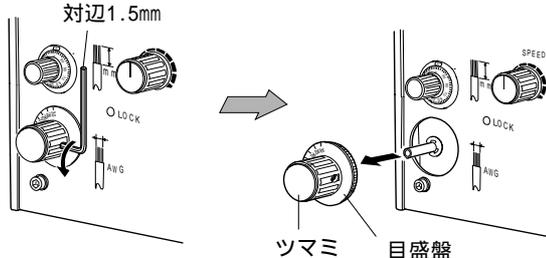
ケーブル径の設定は、電線被覆の材質・厚さなどにより、微調整が必要になることがあります。  
最適なケーブル径の設定を行なうためには、ストリップ加工を5～6回程度行ない問題がないことを確認してください。  
また、ストリップ加工を繰り返し行なっているうちに、ケーブル径設定つまみの設定値がズれることがあります。設定値がズレたときは、下記の「ケーブル径設定つまみの再調整方法」をご覧ください。

**=ケーブル径設定つまみの再調整方法=**

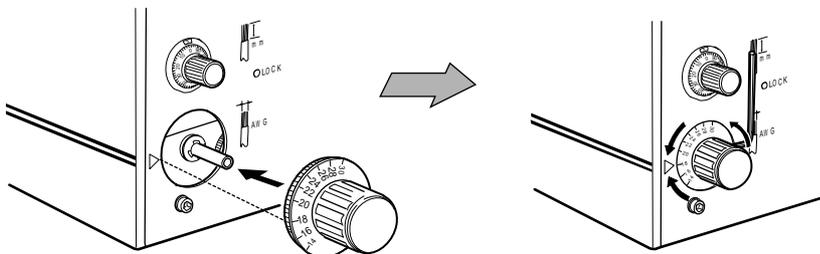
次の方法で再調整してください。  
例) 「AWG18」に設定した目盛りが「AWG 20」にズレたとき

**1 「AWG18」の電線をストリップ(フルストリップ)する**  
サイズのわかっている電線が確実にストリップできることを確認してください。

**2 ケーブル径設定つまみの止めねじを付属工具**  
(対辺1.5mm)でゆるめて取りはずす



**3 ケーブル径設定つまみの目盛りを「18」に合わせ**  
締め付けるせて取り付け、止めねじで



**重要**

AWG14～30 (2～0.05mm<sup>2</sup>) サイズの電線を使用しても、被覆が硬くて薄い電線や表面が滑りやすい電線(例:テフロン線など)は、適切にストリップできないことがあります。当社またはお買い求めの販売店にご相談ください。

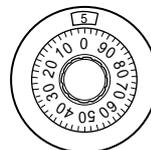


止めねじは、ゆるめすぎないでください。  
ゆるめすぎるとつまみと目盛盤がはずれます。

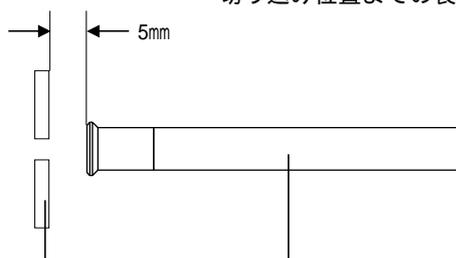
### 3. ストリップ長の設定

ストリップ長は、タッチセンサの先端位置(電線の先端)からストリップ刃の切り込み位置までの長さです。設定範囲は1.0～20mmです

出荷時設定:5mm



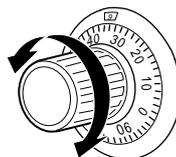
タッチセンサの先端からストリップ刃の切り込み位置までの長さ



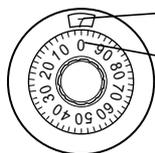
ストリップ刃

タッチセンサ

**1** ストリップ長設定つまみをまわして、ストリップする長さを設定する



ストリップ長の設定例  
「7.0mm」に設定するとき



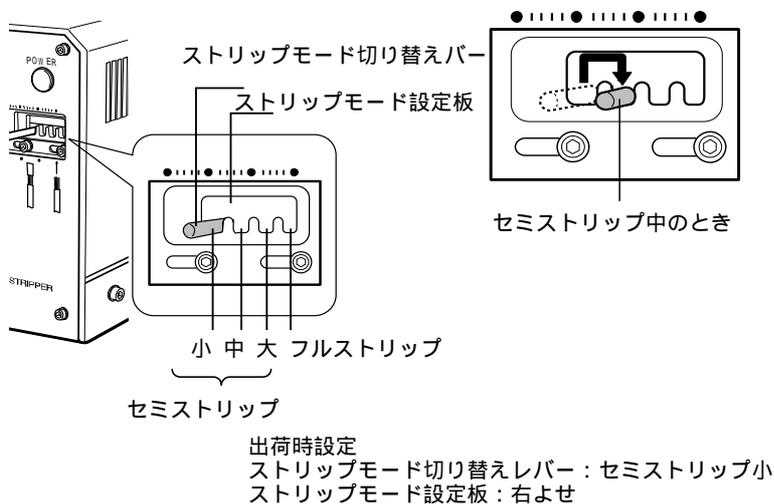
「7」合わせます

「0」に合わせます

中の目盛が一回転すると、口の数值が「1」変化します。

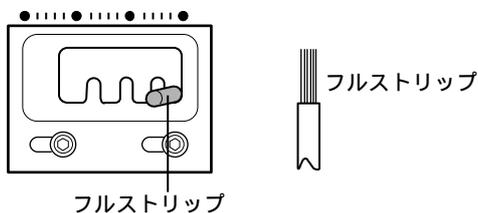
## 4 . ストリップモードの設定

ストリップモードをストリップモード切り替えレバーで設定します。ストリップモード切り替えレバーは、出荷時にセミストリップ小(セミストリップ3.5mm)に設定しています。ストリップモードを切り替えるときは、ストリップモード切り替えレバーを持ち上げてスライドさせ、加工するストリップモードの溝に入れます。



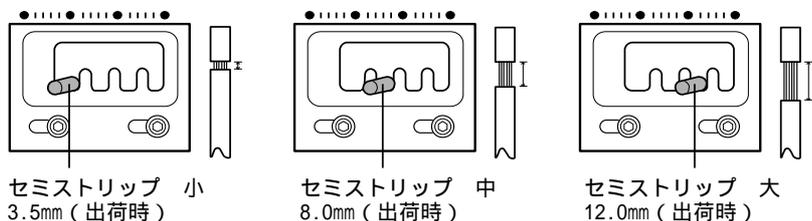
### フルストリップのとき

ストリップモード切り替えレバーをフルストリップの溝に設定します。ストリップ長設定つまみで設定した長さの被覆を完全にストリップします。



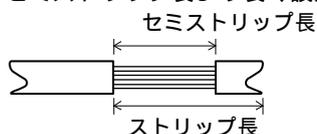
### セミストリップのとき

ストリップモード切り替えレバーをセミストリップ(大・中・小)の溝に設定します。ストリップ長で設定した長さの被覆を、途中までストリップします。



### 重要

セミストリップするときは、ストリップ長を必ずセミストリップ長より長く設定してください。



## セミストリップ長の変更

ストリップモード設定板の固定位置を調整すると、セミストリップ長の設定が変更出来ます。

セミストリップ長の設定範囲

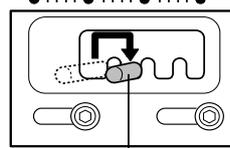
セミストリップ小 : 0~4.0mm  
 セミストリップ中 : 4.0~9.0mm  
 セミストリップ大 : 9.0~14.0mm

例) セミストリップ中を7mmに変更する

ポイント

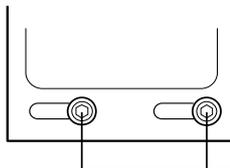
ストリップモード設定板をずらすときは、ストリップモード切り替えレバーを持って行ってください。

### 1 ストリップモード切り替えレバーを「セミストリップ中」の溝に設定する



セミストリップ 中

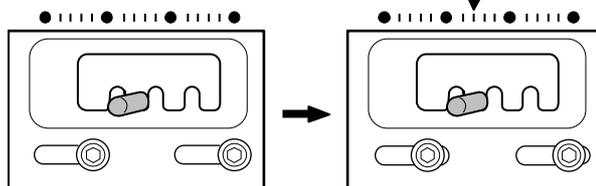
### 2 付属工具(対辺2.5mm)でストリップモード設定板を固定している六角穴付きボルト(2本)をゆるめる



六角穴付きボルト (M3)

### 3 ストリップモード設定板を左にずらし、ストリップモード切り替えレバーの中心を左から7番目の目盛りに合わせて

左から7番目



結果

セミストリップ長は、次のように変更されました。

セミストリップ小 : 0.5mm  
 セミストリップ中 : 7.0mm  
 セミストリップ大 : 12.0mm

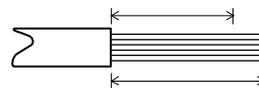
### 4 ストリップモード設定板を固定する

**重要**

ストリップモード設定板の位置を変更すると、フルストリップ長の上限が制限されます。

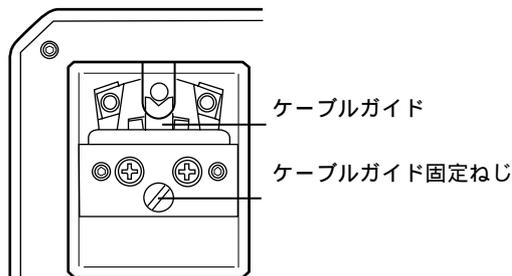
フルストリップの上限範囲: 14~20mm

[フルストリップ上限値] < [ストリップ長] のときは「セミストリップ」になります。



## 5 . ケーブルガイドの設定

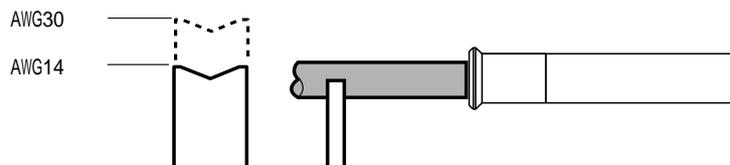
電線サイズに合わせてケーブルガイドの位置を設定します。  
電線サイズが変わったときは、必ず再設定してください。



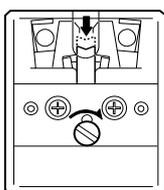
**1** ケーブルガイド固定ねじを反時計方向にゆるめる

**2** 電線を差し込み、電線の先端がタッチセンサの中心にあたる高さにケーブルガイドを合わせる

ケーブルガイド固定ねじを持ってケーブルガイドを上下に移動させてください。  
電線はまっすぐにしてください。

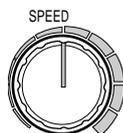


**3** 電線を抜き、ケーブルガイド固定ねじを締めてケーブルガイドを固定する



## 6 . ストリップ時間の設定

ストリップ時間設定ツマミで、ストリップ時間  
(ストリップ刃の往復時間)を設定します。

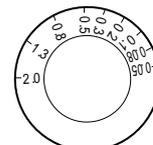


ストリップ時間は、電線がタッチセンサにあたりストリップ刃が閉じてから、ストリップ後にストリップ刃が戻ってくるまでの時間です。設定時間範囲は0.5~1.2秒です。  
反時計方向に回すとストリップ時間が遅くなります。

ケーブルガイド固定ねじは、ゆるめすぎないでください。

**線径表示シールの貼付方法**

AWG表示シールを線径表示シール（付属）に貼り替えるときは、次の手順で行ってください。



線径表示シール



ポイント

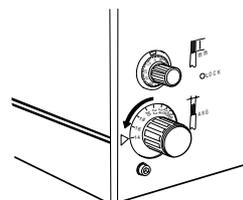
止めねじはつまみと目盛盤およびシャフトの3点を固定しています。



ポイント

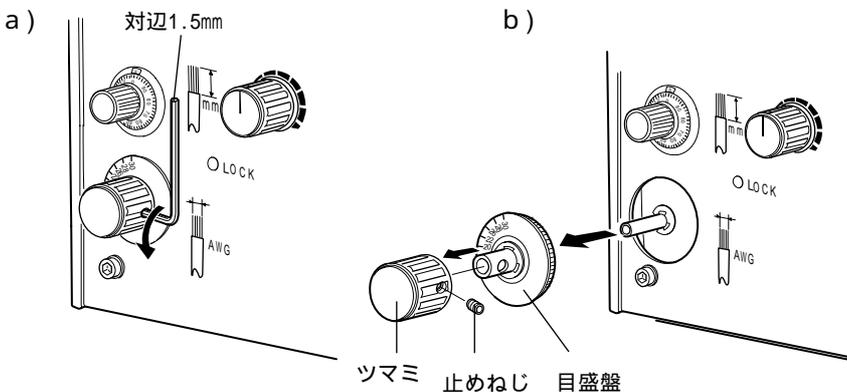
目盛盤を脱着するときは、シャフトを動かさないでください。

**1 ケーブル径設定つまみの目盛りを「14」に合わせる。**

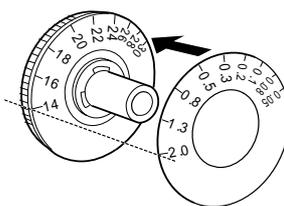


**2 目盛盤をはずす**

- a) ケーブル径設定つまみの止めねじを付属工具（対辺1.5mm）で緩めます。
- b) 目盛盤をシャフトとつまみから取りはずします。

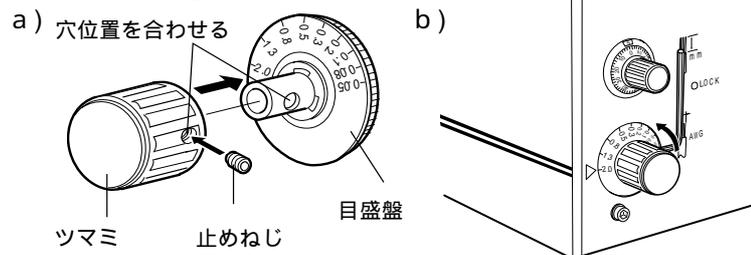


**3 線径表示シールをAWG表示シールの上から貼付する**  
線径表示シールの目盛「2.0」をAWG表示シールの目盛「14」に合わせます。



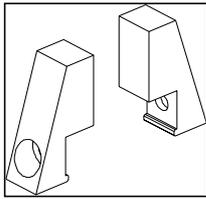
**4 目盛盤を取り付ける**

- a) 目盛盤とつまみのねじ穴を合わせて止めねじを締めます。
- b) 目盛りを「2.0」に合わせて、止めねじでシャフトに固定します。



## 保守部品の交換

### クランパの交換



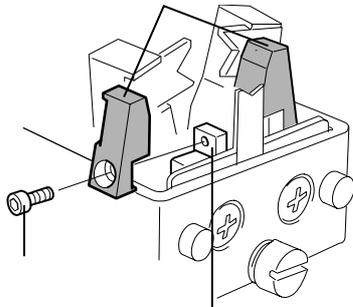
クランパ  
品名：C12

使用工具  
六角レンチ（対辺2.0mm）

電源プラグを抜き、電源コードをインレットからはずします。

**1 刃部カバーを外します。**  
カバーは磁石で吸着固定されています。手前に引いて、取り外してください。

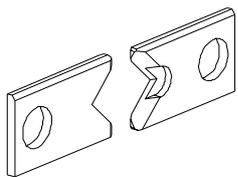
**2 クランパをはずす。**  
六角レンチ（対辺2.0mm）でクランパを固定している六角穴付ボルト（M2.6）を緩めて、取り外します。



**3 新しいクランパを取り付ける**  
新しいクランパを左右の位置を揃えてクランパベースに取り付け、六角穴付きボルトで固定します。

**4 刃部カバーを取り付ける**

## ストリップ刃の交換



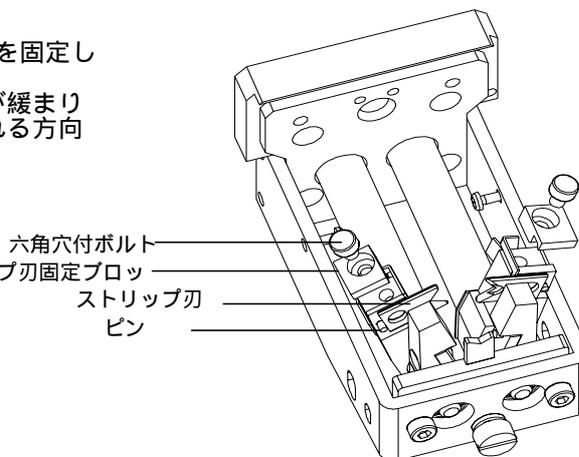
ストリップ刃 使用工具  
品名：B12C 六角レンチ（対辺2.0mm）

電源プラグを抜き、電源コードをインレットからはずします。

**1 刃部カバーを外します。**  
カバーは磁石で吸着固定されています。手前に引いて、取り外してください。

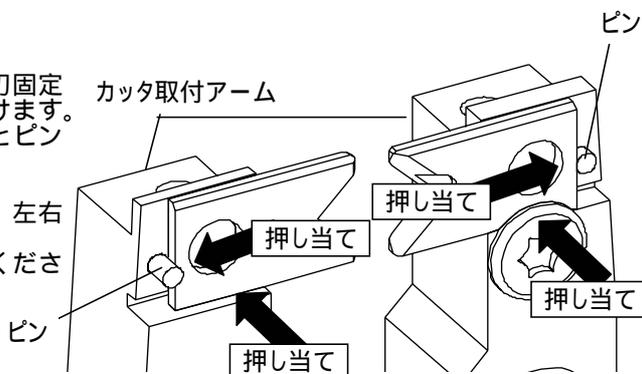
**2 ストリップ刃を取り外す**  
六角レンチ（対辺2.5mm）でストリップ刃を固定している六角穴付ボルト（M3）を緩めます。ボルトを緩めると、ストリップ刃の固定が緩まりますので、ストリップ刃をピンからはなれる方向にスライドさせ取り外します。

ストリップ刃固定ブロックを取り外さずに、ボルトを緩めるだけでストリップ刃を取り外すことができます。



**3 新しいストリップ刃を取り付ける**  
新しいストリップ刃を取り付け、ストリップ刃固定ブロックで挟み付けるようにボルトを締め付けます。このときストリップ刃をカタ固定ブロックとピンに押し当てながら締め付けてください。

ストリップ刃は左用と右用がありますので、左右を間違えないように取り付けてください。また、上下も間違えないように取り付けてください。



### ⚠ 注意

！ボルトを締めるときの注意！  
締め付けトルクは約40 [N・cm] (4 kg・cm) 程度までにしてください。基準以上のトルクで締め付けてしまうと、刃を固定する部品が破損し刃を確実に固定できなくなる可能性があります。  
トルク管理ができない場合の目安は、ネジを締め込んでいき、硬くなったところ（スプリングワッシャが潰れきったところ）が約40 [N・cm]です。  
または、添付のレンチ（対辺2.5mm）の柄が長いほうをボルトに差し込み手で締められる程度が約40 [N・cm]です。

面取りがフロント側上方に来るようにしてください

面取りがフロント側上方に来るようにしてください



左用は刃の裏面をフロント側にしてください

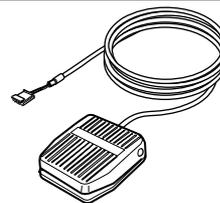
右用は刃のおもて面をフロント側にしてください

# オプション

## フットスイッチFS10H

フットスイッチを使用すると、細い電線や軟らかい電線を確実にストリップすることができます。

細い電線や軟らかい電線をストリップするときにタッチセンサを使用すると、電線の先端が曲がり、うまくストリップできないことがあります。



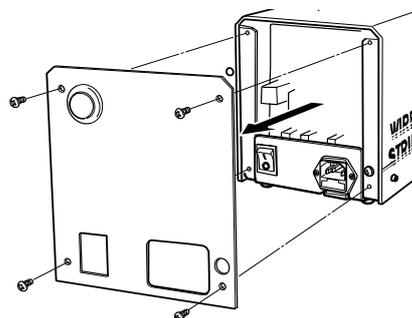
### 重要

フットスイッチを使用すると、タッチセンサでのストリップができなくなります。

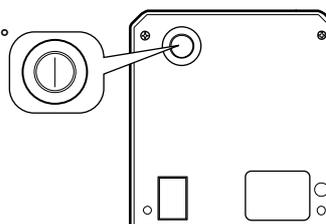
## フットスイッチを取り付ける

電源プラグを抜き、電源コードをインレットからはずします。

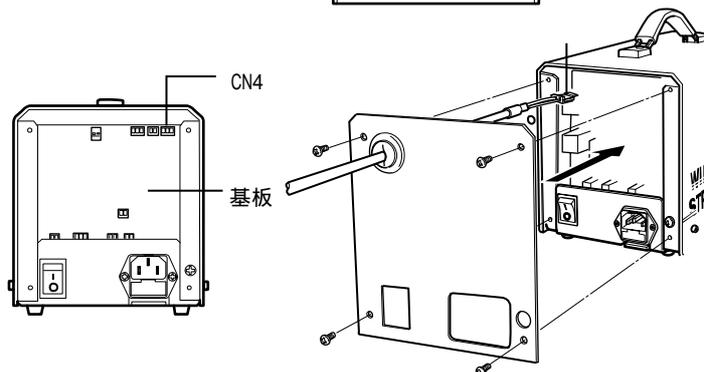
- 1 リアパネルをはずす**  
プラスドライバーでリアパネルのねじ(4本)を取りはずします。



- 2 膜付きグロメットに切り込みを入れる**  
膜付きグロメットにカッターでフットスイッチのコネクタが通る大きさ(直径15 mm)の切り込みを入れます。



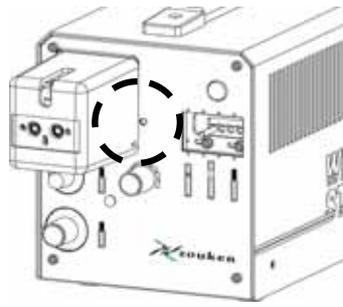
- 3 フットスイッチのコネクタを差し込む**  
ワイヤーストリッパ内基板のタッチセンサ(CN4、AUTO)コネクタをはずします。  
フットスイッチのコネクタを膜付きグロメットに通し、CN4(AUTO)コネクタに差し込みます。



- 4 リアパネルを取り付ける**

## 正常に動作しないときは

以下の異常内容であれば、予想される原因に対応した処置を行ってください。  
下記の処置を行っても異常が解除できない場合、あるいは下記以外の異常が発生した場合は  
お買い上げの販売店にお問い合わせください。

現象	予想される原因	処置
POWERランプが点灯しない	電源スイッチが入っていない	電源スイッチが「 」側に倒れているか確認してください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズを確認してください。ヒューズホルダは（手前側の1個は予備です。）奥側のヒューズが切れていたら、予備と交換してください。交換後も再度ヒューズが切れるようでしたら、修理依頼してください。 <交換ヒューズ> ミゼット形ガラス管ヒューズ 3A
電源を入れても動作しない	カバーがはずれている	カバーがはずれると動作しない安全機構がついています。電源を切り、カバーを確実に装着後、電源を再投入してください。
ストリップ刃、クランプが初期位置で停止していない	加工途中で電源がOFFされたか、カバーがはずれて安全機構が働いた可能性があります	カバーが確実に装着されていること確認し、電源を再投入してください。ストリップ刃、クランプが初期位置に復帰します。
電線にストリップ刃が食い込んだ状態で停止した	ケーブル径の設定が適切でない可能性があります。	図の穴に対辺3.0mmの六角レンチを差し込み、時計方向に回してください。ストリップ刃、クランプが開きますので、電線を取り除いてください。 
ストリップ長がばらつく	クランプの取り付けしているシャフトに剥きカスがついている可能性があります	カバーをはずして、剥きカスを除去してください。
ケーブル径設定ツマミの目盛りがズレる	ストリップを繰り返しているうちに4～5目盛りズレることがありますが、故障ではありません	ケーブル径設定ツマミを再調整してください。
ストリップできない	クランプにケーブルの剥きカスがつかまってクランプ力が弱くなっている可能性があります	カバーをはずして、クランプにつまった剥きカスを除去してください。また、ストリップしづらい材質もあります。クランプの調整などでストリップできる場合もありますので、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
	ストリップ刃がロックねじで固定されている	ロックねじをはずしてください。
	電線が軟らかくて、タッチセンサで検出できない	フットスイッチ(別売り)を使用してください。(17ページ)
ストリップの長さが設定と異なる	ストリップ長設定ツマミ(10ページ)の設定とストリップモード(11ページ)の設定状態を確認してください	セミストリップモード設定値 > ストリップ長設定ツマミの設定値 フルストリップになります。 フルストリップモード上限値 < ストリップ長設定ツマミの設定値 セミストリップになります。 ストリップモード(ページ)とストリップ長設定ツマミ(ページ)の設定を見直してください。 ストリップ長の出荷時設定を変更すると、フルストリップモード時の上限値が短くなります。
20mのフルストリップができない	セミストリップ長の設定を変えるため、ストリップモード設定板を左側に移動した可能性があります	ストリップモード設定板を右側に移動してください。(12ページ)

# 付 録

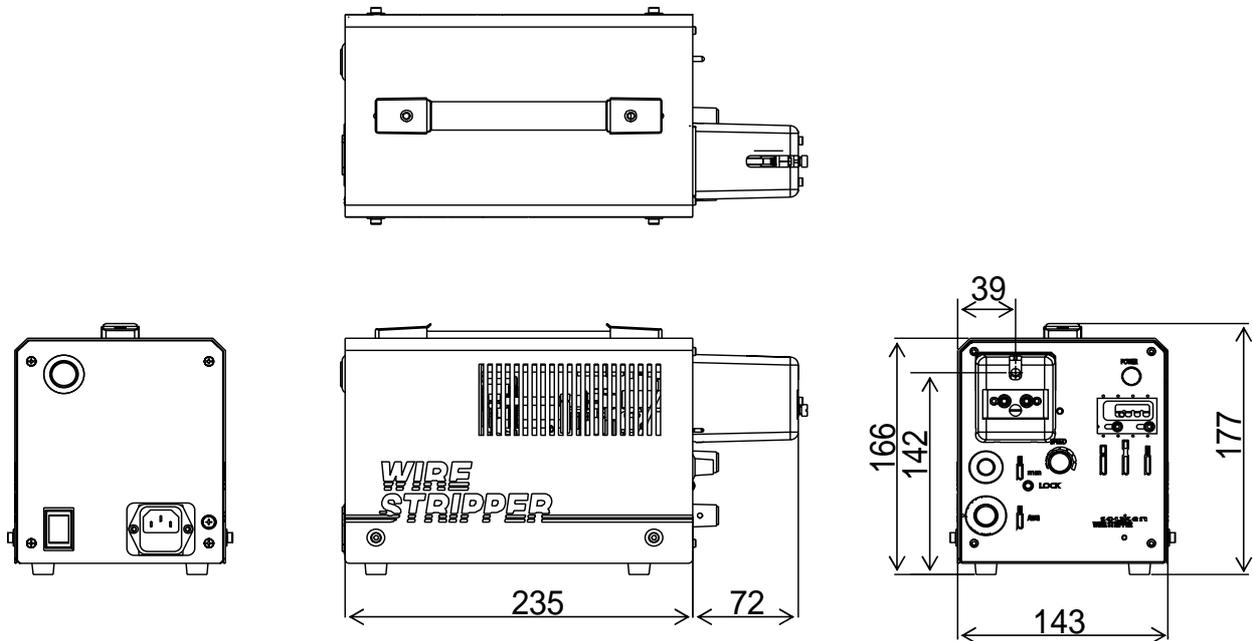
## 仕 様

品 名	Z K S - 1 2	
ストリップ長	[mm]	1 . 0 ~ 2 0 . 0 mm
ストリップモード	ワンタッチ切り替え (フルストリップ、セミストリップ) セミストリップ調整範囲 ( 0 . 5 mm ~ 2 0 mm )	
対象ケーブル径	1	AWG 1 4 ~ 3 0 ( 2 ~ 0 . 0 5 mm <sup>2</sup> )
切り込み設定値	[mm/クリック]	0 . 0 2 mm / クリック
加工時間	[s]	0 . 5 ~ 1 . 2
ストリップ刃材質	ハイス鋼 (チタンコーティング)	
電源	A C 1 0 0 V 5 0 H z / 6 0 H z 1 A	
外形寸法	2	1 4 3 W × 3 0 7 D × 1 7 7 H
質量	[kg]	6

- 1 材質によりストリップ加工できないものもあります。
- 2 外形寸法には、取っ手、ねじ、ツマミなどの突出部は含みません。

## 外形図

単位：mm



## 点検

定期点検はワイヤーストリッパを安全に、より効率よく稼働させるために重要です。異常がある場合はすぐに作業を停止し、点検を行なってください。

### 日常点検

次の項目について、毎日点検を行なってください。また、ワイヤーストリッパの操作前と操作後に異常がないことを確認してください。

### カバーのはずし方

カバーは磁石で吸着固定されています。カバーを手前に軽く引っ張ってはずします。

点検項目	点検内容
ストリップ刃部	ストリップ刃、クランプの周囲に電線の剥きカスがついていないか？
剥きカス	カバー内に電線の剥きカスが1cm以上たまっていないか？

## 保証とアフターサービス

万一不都合が生じた場合は、次のように保証いたします。

### 保証期間

本機の保証期間は、納入後1年間です。

### 保証内容

上記の保証期間に正常な使用状態で、この製品を構成する純正部品や当社が指定した部品が、その素材または構造上の不具合が原因で、何らかの故障が生じた場合、無償で修理または交換いたします。ただし、この製品の故障、誤動作または不具合により発生した損害、逸失利益などの付随的損害の補償や第三者への補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

### 保証除外事項

次の場合、保証は除外されます。

1. 経時変化あるいは使用損耗により発生する不具合(塗装、メッキなどの自然退色、保守部品の劣化など)。
2. この製品の品質・機能上影響のない軽微な感覚的症状。
3. ストリップ刃、クランパの消耗。(使用方法によって1年以内に交換する必要があります)

### 無償修理の対象外

次に示すものに起因すると認められる故障については、無償修理いたしません。(有償修理になります)

1. 地震、台風、水害、落雷などの天災または事故、火災など。
2. 当社によって認められてない改造など。
3. 純正部品および指定保守部品以外の使用。
4. 保守点検上の不備または間違い。

ご不明な点や修理に関するご相談  
ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

この取扱説明書の一部または全部を無断で転載、複製することは、禁止されています。損傷や紛失などにより、取扱説明書が必要なときは、最寄りの販売店に請求してください。

取扱説明書は、製品の改良や仕様変更および取扱説明書の改善のために、予告なしに変更することがあります。

取扱説明書には正確な情報を記載するよう努めていますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどにお気づきの点がありましたら、当社までご連絡ください。

## 株式会社 造研

〒192-0355 東京都八王子市堀之内2-21-9

TEL:(042)675-2111 FAX:(042)675-2142

URL:<http://www.zouken.co.jp>

E-Mail:[info@zouken.co.jp](mailto:info@zouken.co.jp)

この取扱説明書は、2007年9月現在のものです。

A1293-901-1